

キルギス共和国からの研修員であるMs. Elmira Abasbekovaより近況活動報告のメールをいただきましたので、次頁以降で紹介させていただきます。

彼女の勤務先と役職は以下の通りで、2024年9月～10月にJICA九州にて行われたエネルギー利用に関する技術コースに参加しておりました。

Ms. Elmira Abasbekova

National Secretariat of COOMET in Kyrgyz Republic

Head of laboratory of electricity and time.

Center for standardization and metrology under the Ministry of economy and commerce of the Kyrgyz Republic

正式な JICA 研修コース名 : エネルギーの高効率利用と省エネの推進 (B)

コースリーダー : 窪田 琢也

親愛なる皆さん

改めまして、研修コースで共有された素晴らしい知識とスキルに心から感謝致します。研修を通じて貴重な経験を積むことができました。その後の活動について、以下に報告させていただきますので、ご覧下さいませ。皆様のご多幸をお祈りしております。

<活動報告>

2025年3月5日 キルギス共和国経済商務省の標準化・計量センターで、エルミラ・アバスベコワ氏(私)が主催するセミナーが開催されました。テーマは「日本の経験に基づき、キルギス共和国におけるエネルギー効率の向上、省エネの推進、環境問題への取り組みに向けて、国民と企業組織のエネルギーに関する知識と活用能力を高める」です。

イベント中、セミナー参加者は日本の省エネと環境持続可能性に関する先進的な取り組みを紹介され、企業組織レベルと家庭レベルの両方でエネルギー効率を改善するための効果的なメカニズムと戦略について検討しました。特に、エネルギー効率の高い技術と政策を実施するための実践的な推奨事項に重点が置かれました。

セミナーの主な焦点は、家庭用電化製品を使用する際の省エネの重要性について国民の認識を高めることと、国際規格 ISO 50001:2018 を検討することでした。専門家たちは、企業組織におけるエネルギー効率の改善、エネルギーコストの削減、環境の持続可能性の向上、ビジネス競争力の向上におけるその重要性について議論しました。

このセミナーは、知識の交換と経験の共有のための貴重なプラットフォームとして機能しました。専門家たちは、キルギス共和国での持続可能なエネルギーに関する取り組みのための実用的なソリューションを提示し、同国のエネルギー利用の効率化と環境改善に貢献しました。

このイベントには、関係省庁の代表者や、エネルギー効率の高いソリューションの開発に関心のある中小企業の代表者が出席しました。

エネルギー効率と省エネの分野における政府、企業、国民の間の体系的なアプローチと積極的な協力は、キルギスタンにおける炭素排出量の削減のための重要な要素です。

日常生活においてエネルギー消費を削減するための新たな考え方や習慣を身につけることは、エネルギー効率の大幅な向上、コストの削減、そして最終的には環境問題の解決と社会の持続可能な発展につながります。

参加者とのセミナーの後、エネルギー効率と省エネの分野で国民の意識を高めるためのワーキンググループが設立されました。

この取り組みをサポートするために、私は JICA のフォローアップ プロジェクトと GIZ/KOICA 向けに 3~4 つの主要コンポーネントを含む提案の形で技術課題を作成します。完成したら、グループと共有してレビューしてもらいます。

上記のプロジェクトが承認された後、今後の成果結果をお知らせします。



セミナー開催風景